

市民との意見交換会・報告書

開催地区：町北・高野地区	開催日時：令和7年5月8日（木） 18時30分 ～ 20時00分
担当班：第5班（出席議員）成田芳雄、柁屋奈津子、奥脇康夫、内海 基、吉田恵三、小倉孝太郎	
開催場所：北公民館	
参加人数：男性 13名、女性 0名、合計 13名	
<p>会場の雰囲気、次回に向けての反省点、申し送り事項など</p> <p>1. 意見交換の総括</p> <p>(1) 議会報告、市政全般についての総括</p> <p>① 2月定例会議について 特になし。</p> <p>② 市政全般（市のまちづくりに向けた課題）について 今般の豪雪による除排雪やごみ処理の有料化に関する意見が重なり、関心の高さが伺えた。また、何をもって地域をどのように活性化するのか、大きな課題を抱えている。</p> <p>(2) 地区別テーマについての総括</p> <p>① 地区別テーマ 地域の活性化</p> <p>② テーマ設定の理由、背景 地区住民の高齢化が進み、若い世代が少ないことなどにより、地域で行事や共同作業も厳しい状況にあるため、今後の地域の活性化に向けた取組について意見交換をすべくテーマとして設定した。</p> <p>③ 主な地域課題 高速道路や会津縦貫北道路、会津アピオなどが立地している一方で、農村地帯の集落での高齢化が進み、若い世代が少ない環境にあるため、地域コミュニティー活動や維持が大きな課題である。こうした課題は以前から同様であるものの、依然として人口減少が進んでいることなどから、若い世代の定住化やUターン、移住の促進に加え、地域コミュニティーをどう維持していくのか、町北・高野地区の特性を生かしながら若い世代が少ない地区での地域づくり、集落活動の維持の仕組みづくりが求められている。</p>	

会津若松市議会議長 様

令和7年5月19日 会津若松市議会市民との意見交換会実施要領第2項第11号の規定により提出します。

予算決算委員会委員長 大竹 俊哉 様

意見交換会第5班 代表者 成田 芳雄

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項
 (含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
今冬の豪雪の際に、臨時雪捨て場として、県立病院跡地が活用されたが、この県立病院跡地の排雪に関わる経費については、どの程度要したのか。無駄ではなかったのか。	県立病院跡地からの排雪に関しては、県が費用を負担したところである。	○	①		雪害対策
除雪車等にGPSが装着されているが、休憩している除雪車両等は、休憩中として色で区別してはどうかと提案する。	要望として伺う。 現在も除雪開始から終了までの運行状況をホームページでお知らせしている。今冬はホームページへのアクセスが多く、12月から翌年2月までに、68,746件ものアクセスがあったため、運行状況をお知らせすることができない日があった。	○	①		雪害対策
高野町平塚地区は3つのエリアに分かれている。平塚、平塚屋敷などは除雪業者が異なっているが、円滑に除雪を行うためには、3つのエリアを同じ除雪業者に対応していただきたい。	要望として伺う。令和6年度は、除雪車の台数は維持されていたものの、除雪業者数が減少しているため、担当する除雪業者が異なるなどの対応もあったかと思われる。	○	①		雪害対策
除雪業者数が減少しているなら、むしろ、一つの業者が近隣のエリアを一体的に除雪した方が、効率的ではないのか。	除雪業者は担当するルートごとの契約で、市内の建設業者等に委託している。ご提案いただいたエリアごとの除雪に関しては、横軸の連携を図るよう市に要望する。また、町内会等と業者との事前打合せを綿密に行うよう要望する。	○	①		雪害対策

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項
 (含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
会津若松駅の周辺における整備計画があるようだが、駅はまちの玄関口であり、全国的に玄関口は観光客等でにぎわいをみせるものの、本市の駅前は、にぎわっていない。駅前の整備は、まちづくりの観点から重要な取組であるものの、自転車置き場以外の通路等に自転車が駐車されたり、放置されている。あいづっこ宣言の看板の前にも違法駐車や放置自転車がある。	そうした現状を市に伝える。駅前都市基盤整備事業の内容は、再開発のようなものではなく、JR東日本、JR貨物及び市との三者で協定を締結し、基本計画を作成するものである。令和7年度は、駅前公園周辺の花壇を撤去し、イベント広場等として整備する予定である。	○	①		交通安全
区長として、小学校の入学式に臨席したが、永和小学校が10名、神指小学校が5名の新生入生であり、少ない状況にある。将来に向けて、両小学校や第六中学校の統合はあるのか。	現時点で統合は考えていない。子どもたちの人数は減少してきており、新たな学校の在り方を模索している。	○	①		学校施設
5月1日号の議会だよりの12ページに、会派別に各議員の賛否一覧が掲載されている。この意見交換会では、会派ごとの考え方を示す場としてもよいのではないか。	ご意見として伺う。この市民との意見交換会においては、議員個人の意見を示す場ではなく、市議会の意見として発言している。	●	②		議会 広報紙
ごみ処理の有料化に対する市議会の見解をお聞きたい。	全国に本市と人口規模等が類似している自治体が約250あり、その中で市民1人当たりのごみの搬出量が本市は4番目に多い。また、現在、会津地方の10の市町村により、新たなごみ焼却施設が建設されているが、現在この新たな施設の焼却能力を超える量のごみが搬出されている。 このまま、焼却能力を超えるごみが排出され続ければ、ごみが回収されなくなる可能性もある。	○	①		環境
道路の陥没などに対する補修は、計画的に実施しているのか。要望数が多いことから、対応に時間を要すると市から言われた。事業実施時期は、事前に連絡していただきたい。早急に対応してほしい。	小額工事で対応できる場所は、令和7年度中に対応するよう取組を進めている。各道路の補修に当たっては、補修の必要性などを点数化し、優先順位に基づき取り組んでいる。 地区のバランスも考慮し、計画的に実施しているものの、各地区からの要望数も多いことから、市民要望に応えるよう議会からも提言している。	○	①		道路

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項
 (含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
道路補修工事の予算が少ないのではないかと。	限られた財源の中から確保されており、この資材高騰の現状を踏まえた小額工事の限度額見直しも議論されている。	○	①		道路
ごみ減量化の取組の中で、第六中学校においては、アルミ缶のリサイクルに取り組んでおり、これらの収益を教育に役立てている。 子どもたちが率先して行っている、こうした取組を広げていくべきである。	すばらしい取組であり、こうした取組が広がるのが望まれる。	○	①		環境
県立病院跡地の利活用に関して、近隣に県立博物館もあるため、美術館の立地も重要と考えるがどうか。	県立病院跡地利活用については、これまで公共施設と収益施設を一体的に公募していたが、現在は、子育て施設等の公共施設のみ公募している状況にあり、美術館の建設に当たっては市議会において過去に陳情を採択した経過にあるものの、収益施設については、市から具体的な時期や内容等は公表されていない。	○	①		まちづくり 文化振興
阿賀川新橋梁の供用開始の時期はいつになるのか。	県の事業であり、現在も事業が継続されているが、後日に現在の状況を報告する。	○	③	後日確認し、事後報告する。 (事後報告書P7に記載)	橋りょう

○ 地区別テーマでの意見交換について →地域の活性化について

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの 【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
高野、町北地域の活性化に向けて、若い世代の感性を受け入れることが重要である。若い世代がアイデア等を出しても、否定されることも少なくない。地域住民の柔軟な姿勢が重要である。若い世代が様々な地域づくりの起爆剤となるのではないか。	その通りであると考え。市においても現在、様々な事務事業の中に、高校生や短大生をはじめとした若い市民の考えやアイデアを採り入れている。	○	①	
高野地区の高齢化率は高い。若い世代を増やすことが活性化につながる。松長団地のある松長小学校も17人の新生入生であった。松長団地があっても、このような状況にある。	ご意見として伺う。現在、市においては移住、Uターンへの支援を強化しており、若い世代の定住化に取り組んでいる。今後少しでも成果が上がるよう市にも提言する。	○	①	
町北・高野地区は、本市の交通の要衝である。市街化区域や市街化調整区域が入り混じる中、会津若松ICを擁する市の表玄関であり、会津縦貫北道路があるにもかかわらず、活性化していない。活性化のためのビジョンがあるのか。市はどのように活性化を図るのか。この地区は重要な立ち位置にあるのか。	人口減少は、様々な要因が複合的に重なっており、どれかの分野を重点的に取り組むことが活性化につながるということではなくなってきている。市の公共交通や、子育て支援、介護、雇用創出、移住支援などの様々な事業を複合的かつ全体的に推進することが重要であると考えている。	○	①	
会津若松市出身者のうち、首都圏等で活躍されている方々に故郷に錦を飾る意味でも協力を仰ぐべきである。会津会などの活用を考えてはどうか。こうした著名人を定期的に招待し、活性化に役立ててもらうことはどうか。	市においては、本市出身者や関係者を対象として、主に企業誘致の観点から会津大使を、観光誘客のために観光大使としてお願いし、活動していただいている。会津会にもご協力をいただいている状況にあり、重要な視点である。 最近、著名なサンドウィッチマンさんを観光大使として任命させていただいており、会津藩公行列においては、毎年綾瀬はるかさんにおいでいただき華を添えていただいている。こうした取組は有効であると思われる。	○	①	

○ 地区別テーマでの意見交換について →地域の活性化について

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの 【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
毎年1月10日に十日市が開催されているが、こうした「市」を年間を通じて開催すべきである。	各商店街等においては、十日市をはじめ、長い歴史と伝統や縁起として続けられてきたお祭りや市、神社等での祭礼も行われている、鶴ヶ城においても観光客がにぎわうシーズンにおいて、会津十楽といった市が開催されている。	○	①	
全国で様々な取組が行われているが、全国唯一の取組、ここでしかないものを創るべきである。	ご意見として伺う。そうした視点は重要である。	○	②	
会津アピオ近隣にある屋敷地区の東側に道の駅などの建設は活性化につながらないか。	屋敷地区の一部は、地区計画の作成により、開発が進んだところである。現在、道の駅の建設計画は無い。磐梯町や湯川・会津坂下町に道の駅があり、かなりの集客もあることから、慎重に検討されている状況にある。	○	①	

市民との意見交換会・事後処理報告書

町北・高野 地区

件名	処理（対応）内容	備考
<p>1. 阿賀川新橋梁の供用開始の時期はいつになるのか。 (P 4)</p>	<p>【市民からの要望・質問】 阿賀川新橋梁の供用開始の時期はいつになるのか。</p> <p>【事後処理結果】 5月13日都市計画課に確認。 都市計画課から福島県に確認したところ、現在、残りの用地買収を進めており、道路等の早期完成に向け取り組んでいるところである。</p>	

会津若松市議会議長 様

令和7年5月19日

予算決算委員会委員長 大竹 俊哉

意見交換会第5班 代表者 成田 芳雄